

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)今井運送株式会社五日市港	階数	地上2F
建設地	広島県広島市佐伯区五日市港二丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条	平均居住人員	12 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 竣工	評価の実施日	2016年1月23日
敷地面積	8,251 m ²	作成者	西村 和幸
建築面積	3,129 m ²	確認日	2016年1月23日
延床面積	3,161 m ²	確認者	東 勝己



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	43%
③上記+②以外の	43%
④上記+	43%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

音環境	2.6
温熱環境	2.7
光・視環境	2.4
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	2.8
耐用性	2.7
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

建物外皮の	4.0
自然エネ	N.A.
設備システ	4.0
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	2.2
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化	5.0
地域環境	2.5
周辺環境	2.7

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.2

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.5	スコア= 2.0	スコア= 2.9
設計の計画上特段に配慮した事項 事務所に於いて、適切な室内環境及び室温等を検討した。/ 自然エネルギーの利用は現在検討していない。/ モデル建物法BEImにて0.42の一次エネルギー消費量となっている。/ 年間に渡って、エネルギーの消費量を把握する。/ リサイクル資材を2品目は使用する。(屋内用品(床・壁材)) / ライフサイクルCO ₂ 排出量が一般的な建物に対して50%以下とする。	設計の計画上特段に配慮した事項 緑地については、広島港五日市地区の工業団地緑地の適用となり、団地緑地にて緑化を満たしている。/ 駐車場(敷地内空地部分)を適切に確保している。	設計の計画上特段に配慮した事項 1階は30,000N/m ² 、2階は3,500N/m ² を確保し、耐用性を満足させる。/ 設備の更新時には躯体と内装仕上げを容易に解体出来る軽鉄間仕切りにて計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される